

学校法人
桑沢学園

桑沢デザイン研究所 入学案内

桑沢デザイン研究所／東京都渋谷区北谷町32／電話・東京（463）2431代表

kuwasawa design school catalog for '66



7
8
27
現代美術

桑沢 デザイン 研究所 教育の趣旨



デザインは物の外面的な装飾であつたり単に販売促進のための表現であるのではなくひとびとの生活の向上のために工業生産や視覚伝達・生活環境をより快適なものにしてゆこうとする造形活動であります したがって単なる自己表現というより 社会に責任をとる表現であり デザイナーは 現代の社会や産業がはらむ矛盾を解決する文明的な使命をもつものといえましょう そこで離れ離れになっている人間と機械 美術と技術 精神と物質を総合して明日のよりよい生活様式や精神風土を創造することがデザイナーに期待されているというべきであります

そのために桑沢デザイン研究所の教育は鋭い造形感覚や構成力 象徴性や機能性豊かな創造力 また 的確な技術を身につけ 新しい物の見かたや考えかたをつかみ デザインの基礎と本質を体得させることに重点をおいています そして広い視野と深い教養をもった人として 社会のなかでデザインをとおしてよく協同し 根強く謙虚に社会の進歩に貢献する人材の育成に力がそそがれ 着々とその成果をしめしております

それは当初から純粹にデザイン教育の場として 基礎教育と専門指導 実習と学科 個性と原理のひびきあう特色ある教育計画と 第一級の教授陣の指導のたまものというべきであります

目次

- 1 = 桑沢デザイン研究所教育の趣旨
- 2 = 沿革
- 3 = 部・科の構成
- 4 = I部リビング・デザイン科
- 10 = I部ドレス・デザイン科
- 16 = ポートフォリオ
- 18 = II部各科
- 26 = 教員
- 28 = 卒業後の方向
- 30 = 入学試験・入学手続・学費
- 32 = 案内地図

学校法人 | 桑沢学園

東京造形大学

昭和41年4月開校
設立申請準備中

学校法人 | 桑沢学園

東京造形大学

学校法人・桑沢学園は デザインの専門教育の機関として 特色ある《桑沢デザイン研究所》を創立して すでに12年の歴史をかさねてまいりました。

このたび さらに高度の — いわばデザイン・美術の最高学府として 新たに《東京造形

大学》の設立を計画し 昭和41年4月に開校いたすべく ただいま鋭意 その準備をすすめております。

同大学設立のあかつきには 優れた教授陣と特色ある内容 教授・研究方法において かならずやユニークな造形大学として御期待に

そいうるものと確信しております。

なお《桑沢デザイン研究所》は 《東京造形大学》の姉妹校として いつその特色をもたせ その充実・発展を期しております。今後とも かわらぬお力ぞえと御指導をお願い申し上げます。

《東京造形大学》の概要

●所在地 東京都八王子市元八王子 3-2707

国電=高尾または八王子

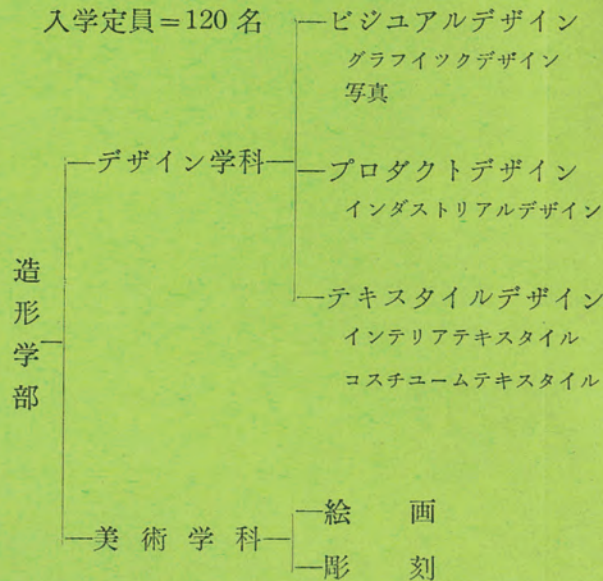
京王線=京王八王子

●特色 デザイン界 美術界の中核をなす 気鋭の教授陣による充実した教育内容と指導方法
少数制による理想的な教育 — 教授と学生の緊密な交流のうえにたつ専門技能・教養の摂取と豊かな人間形成
緑の樹木にかこまれ 新鮮な空気と爽やかな太陽の輝く快適な教育環境

●年限 4年制

●学部 学科 定員

入学定員=120名



●学士号 芸術学士

●主なる教員

《一般教育科目》

村岡景夫
奥野高広
松本和夫
鷺坂清信
他

東松照明
皆川正
渡辺力
豊口克平
東昇
桑沢洋子
四本貴資
横田経子
他

《デザイン学科》

勝見勝
杉浦康平
勝井三雄
石元泰博
大辻清司

《美術学科》

竹谷富士雄
朝倉撰
森田信夫

佐藤忠良
朝倉響子
五十嵐芳三
他
勝見勝
松谷彊
浜口隆一
鈴木正明
柳宗理
南博
塚田敢
針生一郎

《専門教育科目》

奈良原一高
伊藤知己
高橋満寿男
川野洋
磯崎新
本田隆三
友部直
深尾庄介
舟越保武
堀内正和
他

(順不同)

沿革



創立にさきだつ10数年以前より 桑沢所長は自身のデザイン活動をとおして デザイン各分野の総合的な専門教育 およびそれらの基礎教育の重要性を痛感していました このような所長の理想と情熱に共感した現教授の方々の協力をえて 桑沢デザイン研究所が設立されました

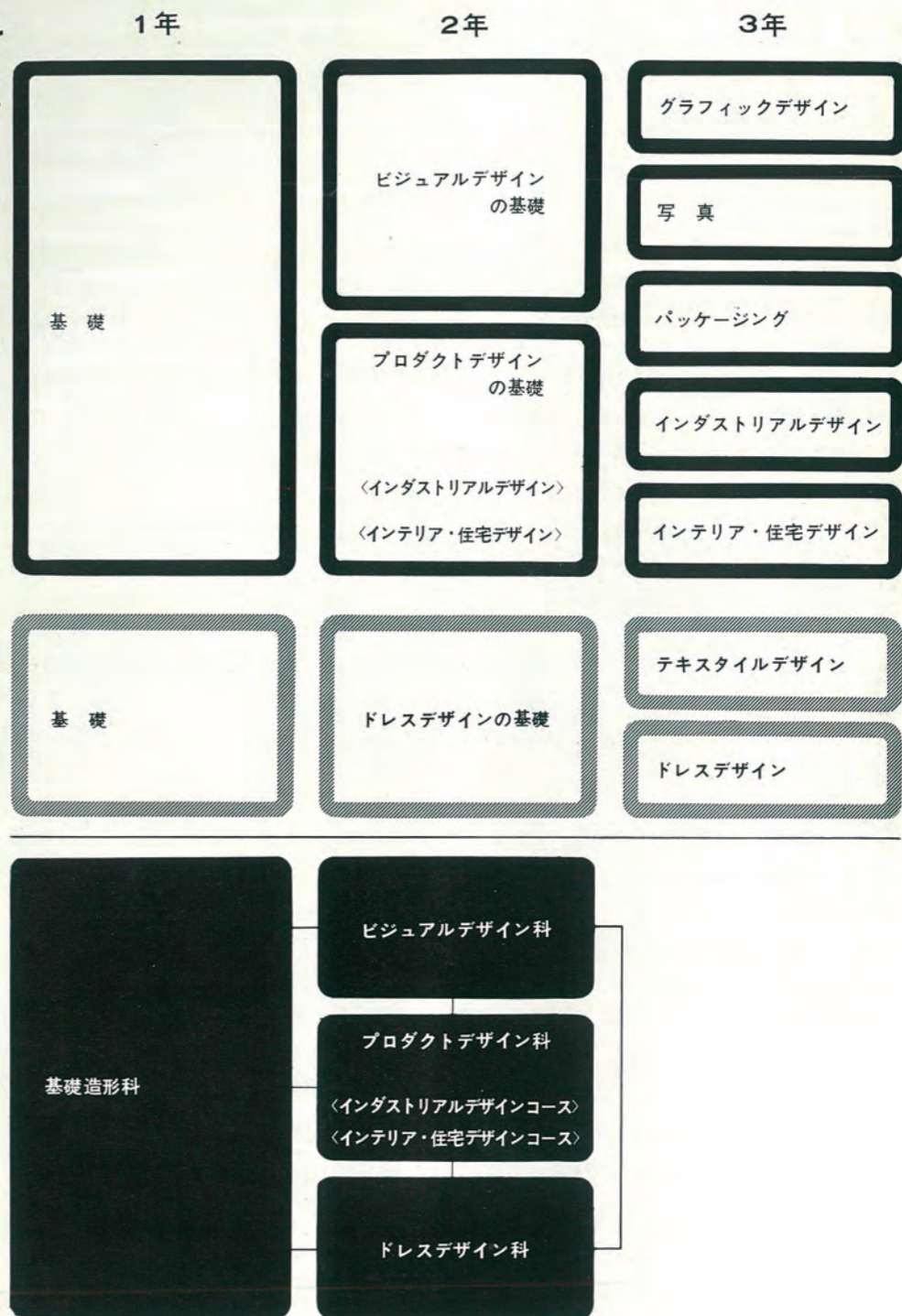
- 昭和29年 4月 →東京都港区青山に 桑沢デザイン研究所設立〈所長・桑沢千代(洋子)〉
- 昭和32年 12月 →学校法人・桑沢学園 桑沢デザイン研究所となる
- 昭和33年 4月 →校舎を現在の渋谷区北谷町に新設移転 〈鉄筋コンクリート 3階 延671M² 設計・増沢洵建築設計事務所〉
- 昭和35年 4月 →第一次増築 〈延1303M²〉
- 昭和36年 12月 →第二次増築 〈延1615M²〉 現在教職員・185名 学生数・1200名

部・科の構成

I部
●リビングデザイン科

I部
●ドレスデザイン科

●II部各科



< I 部 > リビング デザイン科

この科は ドレスデザインを除く 生産・環境・伝達に関する広範なデザイン諸分野にわたる3年の大学に準ずる専門教育をおこなっています

1年では デザインの基礎学習として 教養学科を重視する一方 造形感覚をみがき その構成力をのばすことを主眼として指導されます

なお それぞれのデザイン分野の意義や相互関係を知り 学生が自己の適性をみいだすための授業も全員がうけることになっています

2年では 共通の教養学科や造形実習がふかめられるとともに グラフィック インダストリアル インテリア・住宅の三者から一つのデザインを選択して それぞれの専攻をさせます ここで分析 発想 展開 表示 表現について 要素技術と基礎理論を 実習を主として学習させます このほか写真 レタリングを必修するとともに パッケージング ディスプレイも選択必修させ 広範な発展を予想しつつ 短大などでは到底えられない程度まで指導されます

3年では 2年までの課程をよい成績で修了しなおデザイナーとしての意志強固な人を少数選抜する形をとった少人数の専攻コースにわかれます 年限は2年ないし3年ですが 各デザイン分野での第一人者を集めた十余年にわたる授業内容の検討と展開は 全く研究所独自のものとなり 大学に匹敵すると称されています

1年

1年では 各種の分野のデザインに共通する基礎の学習として 造形感覚をみがき その構成力をのばして 将来にそなえることを その主要な目標としています

この学習は デザイナーに欠かせない能力として 固定した概念にとらわれず ゆたかな発想を育てるよう またいろいろな材料・用具による実習をとおして 新しいもの見かた考え方を 学生自ら感じとり表現するよう進められます

同時に 教養学科についても専門分化する傾向にあるデザインに対応できるように 重要視され 全人的な教育がなされます

さらに 各種のデザイン分野へ方向づける概括的な授業を 全員が受けることになっています こうした幅広いデザイン活動を知った各学生は さらにデザインの基礎学習の必要性を実感して 共同研究をふかめるとともに 各人ごとの意欲的・個性的な実習課題に没頭するよう自覚してゆきます

科目内容

●基礎造形

- I 構成実習 色彩・平面・立体・構造
- II 表示練習 図法・文字
- III 美術実習 絵画・彫塑

●基礎デザイン

- I 生活空間
- II 生活機器
- III 視覚伝達

●教養学科

人文科学 社会科学 自然科学 英語 美術史

2年

2年では 1年の基本的な学習のうえにたって やや具体的な条件をともなったデザインを考えさせ 実際的なデザインの基礎学習にはいります このために 一方では 基本的な造形感覚をみがき一段と高度な技術練習もくわえつつ構成力をつちかう包括的な課題によって充実展開させます 他方では 視覚伝達 工業生産 生活環境の立場からビジュアルデザイン インダストリアルデザイン インテリア・住宅デザインの各専攻ごとに 基礎デザインの方向づけを 各人の能力に応じて意識的にのぼします

あわせて 各種のデザイン要素技術にわたる学習は デザインに必要な条件——機能 構造 材料 意味——を体得させ デザイナーとしての厳しい態度を養います

こうした学習は 基礎を重視する当所の教育課程が デザイン界の第一線のデザイナーと教育者との協同の収穫ともいえるものであり 各方面から高く評価され この学年での卒業生は 短大卒と同程度の資格で就職ができます

科目内容

●基礎造形

I 構成実習 II 美術実習

●ビジュアルデザインの基礎

グラフィックデザイン

●インダストリアルデザインの基礎

●インテリア・住宅デザインの基礎

●写真

●レタリング

●パッケージング ディスプレイ

●教養学科

デザイン史 デザイン論 英語

3年

2年までは 入学したすべての学生に用意された課程とするなら 3年の課程は各人の専攻ごとに デザインの専門教育をする いっそう厳しい課程といえます

この課程に進む学生は 2年までの課程をよい成績で修了し なおデザイナーとしての意志の確かな人を少数選抜する形をとっています

専攻はグラフィックデザイン パッケージング 写真 インダストリアルデザイン インテリア 住宅デザインの各コースにわかれます 各専攻コースの主任教授を中心とする第一線のデザイナーや理論家 技術者などの教師のもとで研究所独自の課題研究の方法が 討議や実習によって進められ それぞれの学習が 専門家としての真剣で地道な研さんとなっています

そこでは直接 教師の人柄 思考過程 技術指導にふれるとともに 自主的な問題解決の態度や考え方が啓発されます このことは将来 社会現場に巣だったとき 真価を発揮することが期待されます

また特殊講義や工場見学などによって現場の実際も指導されています

科目内容

●専攻科目

グラフィックデザインの理論と実習

パッケージングの理論と実習

写真の理論と実習

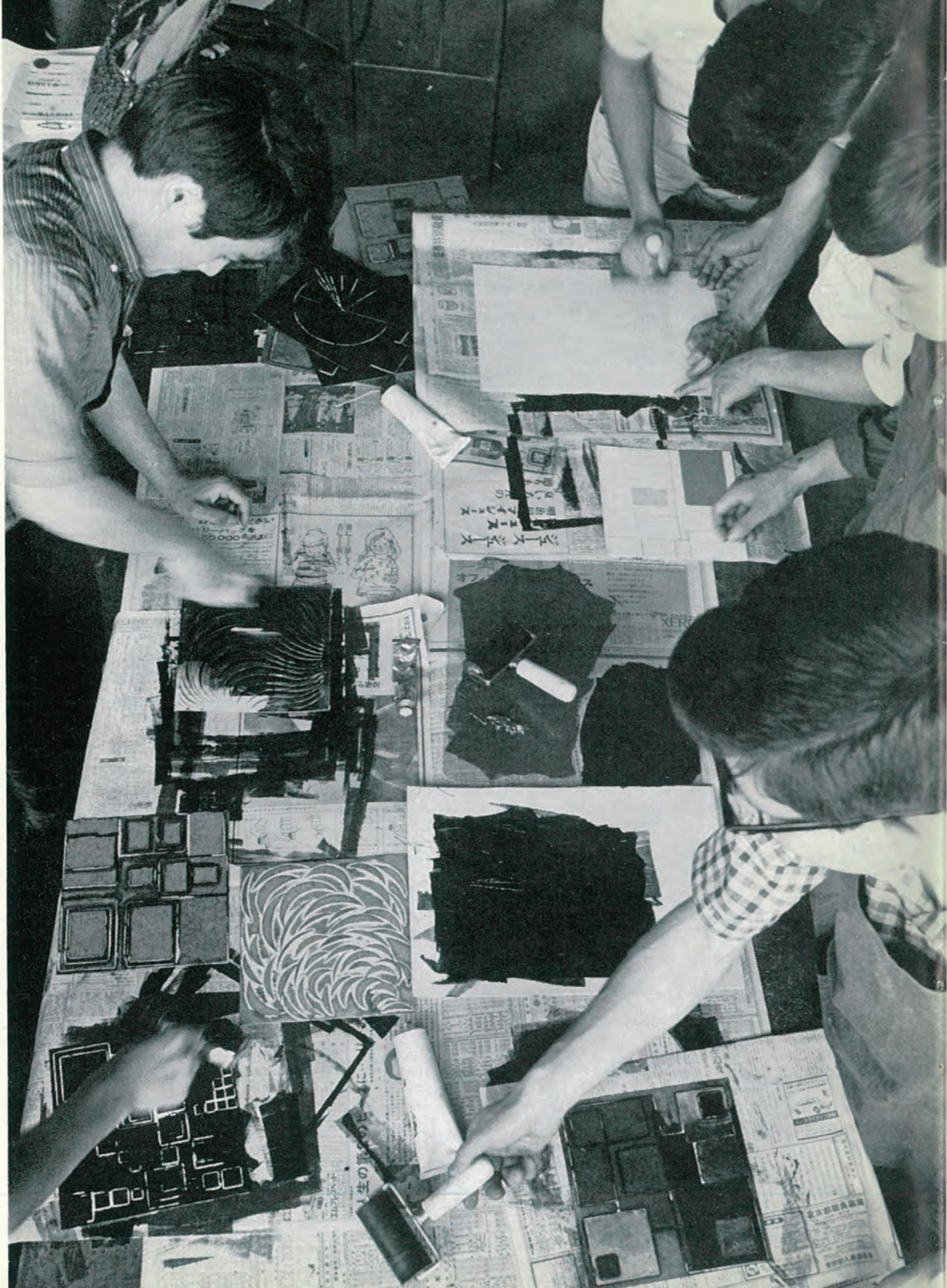
インダストリアルデザインの理論と実習

インテリア・住宅デザインの理論と実習

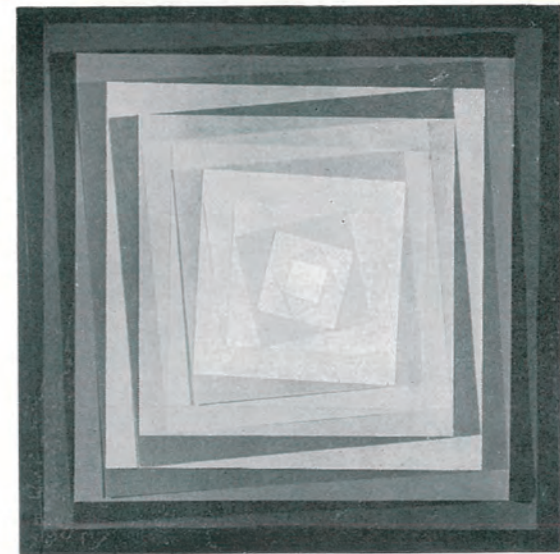
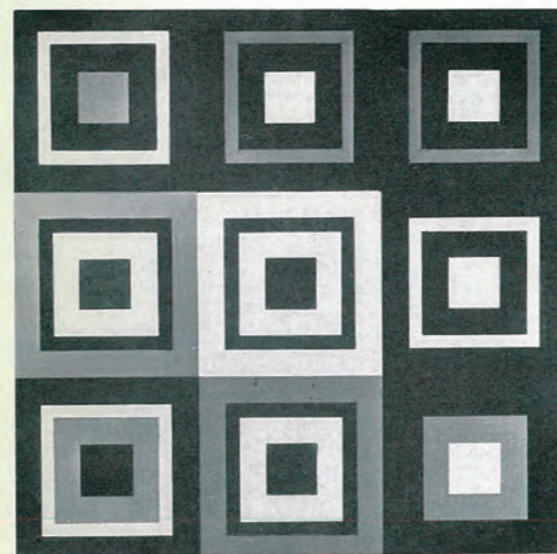
●教養学科

デザイン論II デザイン論III

●特殊講義 見学 その他



1		2	1	構成練習 (紙版画)
		3 4		
			3・4	作品 (色彩構成)





1	2	4
3	5	

- 1 フォルム・材料と道具との理解を深めるハントスカルプチュア
- 2 構成の授業風景
- 3 マークのデザイン 作品批評
- 4 インダストリアルデザインにおける基礎表現練習 作品批評
- 5 スタジオ撮影の実習



〈I部〉 ドレス デザイン科

ドレスデザインは 私たちの生活環境のうちでも最も身近な衣生活を より美しく合理的に向上させてゆくための造形の一つです。ドレスデザイナーは 新しい社会生活 家庭生活にともない 建築 什器などの環境デザインとともに 衣服の形態 着方 色彩 材質など常に鋭い時代感覚をもつと同時に 私たちの生活をよりよく向上させる役割をもっています。

ことに 新しい時代の日本の繊維産業界は ドレスデザイナーとしてのせまい仕事のみでなく テキスタイルデザインを含めての工業生産のためのディレクターあるいはコンサルタントとしての重要な立場を要求する段階になりました。

当所のドレスデザイン科は デザインの本質とデザイナーとして必要な広い教養を身につけさせることに重点をおくと同時に ドレスデザイナーとしての造形力を把握させることに目標がおかれております。

3年課程のカリキュラムのうち 特に1年課程においては ドレスの基礎技術と平行して各種のデザインに共通の造形感覚の基礎訓練を行い 各人の個性を引きだし 観念的なものを打破しながらのびのびと新鮮な創意を発揮できるような教育を行います。

2年 3年においては 基礎理論を展開させたデザインの表現実習 表現技術の学習をとおして 職能人としての能力を身につけさせます。さらに 服飾界および繊維界の すぐれたデザイナーやディレクターの深い体験による指導と夏季現場実習などによって 多角的にドレスデザイナーとしての教養を身につけさせております。

一方 工場・研究所・展示会その他の各種見学 服飾調査などにより視野を広めることにも力を注いでいます。

1年

1年は 3年間のドレスデザイン教育の基礎学習にあたります。色彩 デッサンなど造形感覚の基礎訓練によって 構成力を系統的にたかめると同時に 人文 社会科学 語学 美術史などの一般教養 造形教養にも重点がおかれた教育がなされデザイナーに必要な 広い視野をもった人間として成長することに主眼がおかれています。またドレスデザインの基礎理論と基礎感覚実習によってドレスの配色 形 材質の基礎を体得させ生活環境の理解と人間工学的なきものの構造を把握させます。さらにデザインの表現技術として 当所が独自に研究した合理的な製図と裁断理論にもとづいた技術の実習をおこなっています。

造形の基礎感覚をみがきながら 技術その他の面に反映させ 次第にデザインの本質へと導入してゆく方法がとられています。1年の見学は広い観点から計画されています。

科目内容

- 基礎造形
構成実習Ⅰ 色彩の基礎理論と実習
美術実習(絵画) 石膏デッサン ノードデッサン
- 教養学科
人文科学 社会科学 美術史 英語Ⅰ
- ドレスデザイン
基礎デザイン
基礎理論 基礎感覚実習
技術理論Ⅰと技術実習Ⅰ
基礎製図理論と実習 縫製実習
被服材料学

2年

2年は 1年から積み重ねられてきた基礎造形とドレスデザインの基礎理論および実習がさらに充実した内容をもって系統的に把握させます。すなわち基礎理論と対応させながら応用面へ展開しデザインの発想練習をかさねて 次第にドレスデザインの方向へ焦点をしばり 各人の個性を発見しながら創造力をたかめさせます。技術の面では基礎製図の発展から 立体の量感を把握させるためのモデリングまで指導し デザインの実際的な表現技法として習得させます。また2年修了で職能人となる人のためにも ドレスデザインのみでなく 他のデザイン分野への関心をもたせ 日本の産業界における服飾デザインのあり方を認識させます。

教養学科は深く広くなり 充実した内容が組み込まれ 各種見学 調査研究なども あわせておこなわれます。

(この学年での卒業者は短大卒と同程度の資格で就職ができます)

科目内容

- 基礎造形
構成実習Ⅱ 平面 立体
- 教養学科
デザイン論Ⅰ
英語Ⅱ(選択) 仏語(選択)
- ドレスデザイン
デザイン理論Ⅰとデザイン実習Ⅰ
基礎理論の展開 感覚練習 表現実習
コスチュームドローイング
技術理論Ⅱと技術実習Ⅱ
基礎製図の展開 応用製図の理論と実習
モデリング 製作
被服概論 服装史

3年

ドレスデザイン科の最終コースであり 職能人として社会に単立つ人達を選抜して構成するクラスです。各人の才能と希望とによってデザインコースとテキスタイルコースとにわかれます。

デザインコースでは 生産 伝達 環境などの種々な角度からの課題にとり組んで 創造力と表現力を高め 社会生活の方向やモードを本質的に把握させながらデザイン実習をおこないます。また 斯界の専門家講師による講義も 巾広く考慮されています。技術面も高度な表現技法を把握させます。テキスタイルコースでは 織 染の実習を中心に パターンデザイン 織物設計 関連のあるドレスデザイン テキスタイル通論など 専門講師の指導が多角的になされます。このコースは 特に最近繊維界 服飾産業界に需要の多い デザイナー およびディレクターとなるために必要な授業内容をもっています。両コース共通の教養学科 各種見学 現場実習などにも重きがおかれています。

科目内容

両コース共通科目

- 教養学科 デザイン論Ⅱ 仏語Ⅱ(選択)
- 被服各論 繊維企業 流行分析 工芸史

ドレスデザインコース専門科目

- ドレスデザイン
デザイン理論Ⅱとデザイン実習Ⅲ
表現実習 モードドローイング その他
技術実習Ⅲ モデリング 製作

テキスタイルデザインコース専門科目

- テキスタイルデザインの理論と実習
染色化学 染色実習
繊維工学 織物実習
パターンデザイン実習 織物設計
- ドレスデザイン実習 表現実習 その他



1	2
	3

1・3 デザイン実習 作品批評
2 作品 (ユニット的なデザイン)





1	3
2	4 5

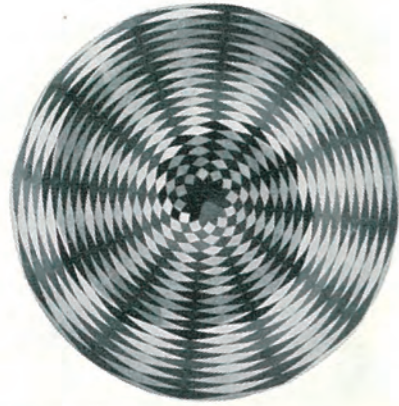
- 1 モデリング
- 2 縫製技術実習
- 3 仮縫実習
- 4 製図理論の講義
- 5 織実習



ポートフォリオ

《インダストリアルデザイン》

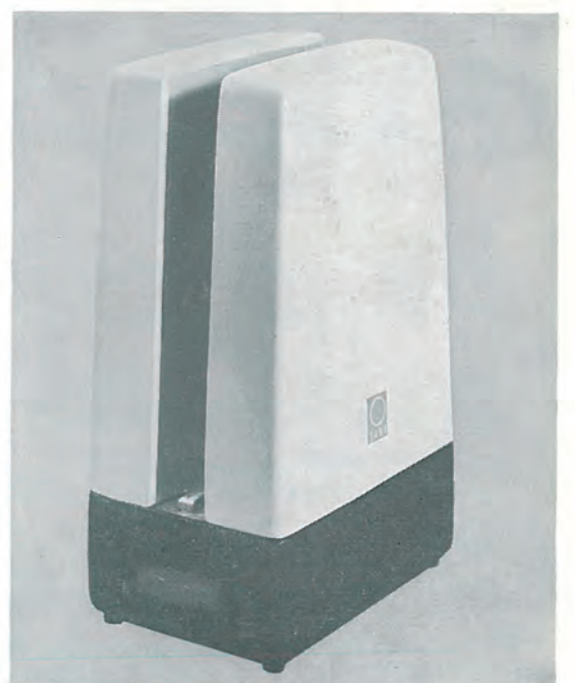
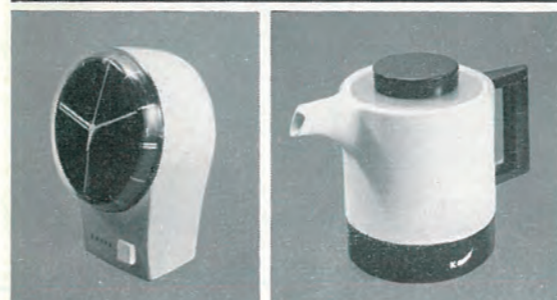
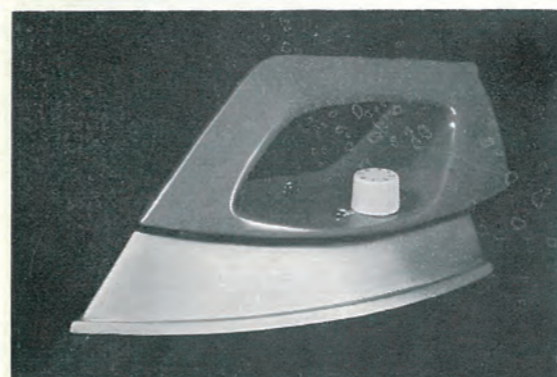
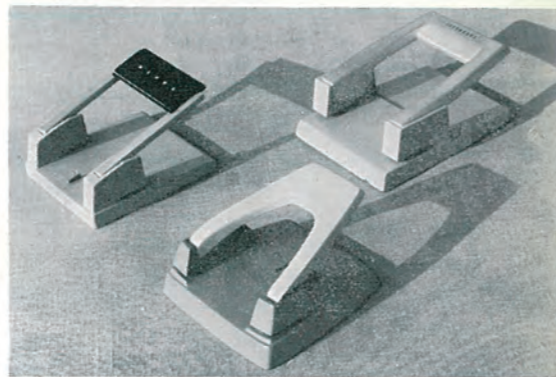
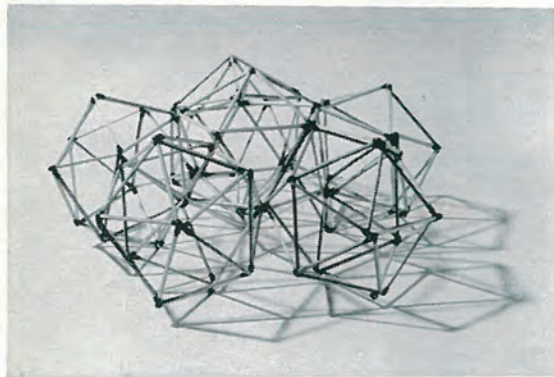
桑沢を巣立ってからもう2年になります。デザインの実際に取り組み、やっと余裕が出はじめましたが、デザインの世界には限界がなく、壁にぶつかっては何か乗り越え、今日に至りました。考えて見れば、デザインについて多くの知識も持たぬままにリビングデザイン科1年に入学した私。基礎造形、基礎デザイン、教養学科と新しい驚きと喜びの連続である充実した毎日。デザインというもののイメージをおぼろげながら体で感じ将来はインダストリアルデザインに進もうと決めたのは1年の終り頃でした。インテリアやグラフィックに進んだ友達もいましたが、皆元気で活躍していることと思います。



2年に進み、専門コースとしてのID実習、技術教養、さらに共通の基礎造形、グラフィックデザイン、パッケージング、レタリング、写真、デザイン論等の多彩な授業は私にもものを見る確かな眼、的確な判断を下す力、デザイナーとしての幅広い知識を与えて下さった様な気がします。その頃の作品を見ると、締切りにやっと間に合わせたものだというはずかしさがいっぱいです。そして3年のインダストリアルデザインコースに進級。数多くの実習課題や合評会、そしてデザイン論。技術的にも社会に出てやっていけるぞという自信が湧いたのはこの時だったのです。はじめて知ったチョーク、スケッチのテクニックや精度を要求された

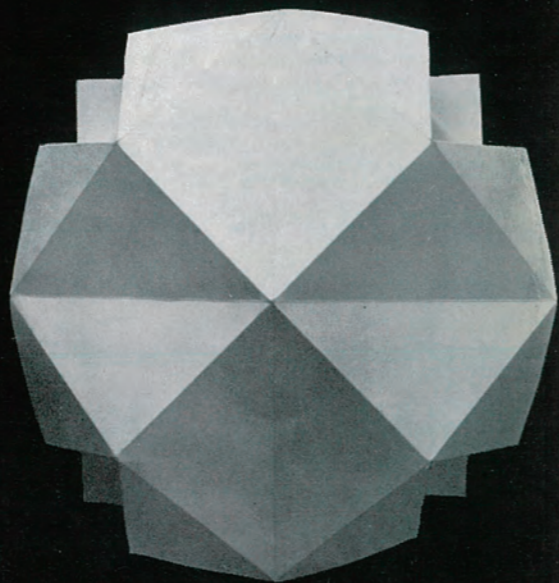


モデル、図面など、デザインの広さ、深さ、きびしさを充分に知りました。大きな期待と少しの不安といった気持ちで学校を離れ、今、当時を思うと精一杯の力で勉強することが出来た自分を本当によかったと思うのです。実際のワークについて見ると基礎の重要性をつくづく感じさせられます。あと少しで一本立のデザイナーになるまでに育った自分を見るにつけても、ここまで御指導下さったことを深く感謝しております。くりびんぐデザイン科インダストリアルデザイン専攻コース卒M) 作品:構成 パンチ 石けん入れ、アイロン 時計 ポット トースター



〈 II部 〉

II部は昼間 社会人として職業をもつ人 ならびに 他の大学と兼修する人で デザインを学ぼうとする意欲ある人々を対象に設けられた夜間のコースです 概念にとらわれず感覚や発想の基礎を体得するための基礎造形科 グラフィックデザインを中心にデザインの基本的な問題の認識把握から具体的なデザイン指導がなされるビジュアルデザイン科 インダストリアルデザインの分析・発想・展開・技術指導を行なうコース 生活空間・家具・室内設計それに附随する技術指導が行なわれるインテリア・住宅の2つのコースにより 構成されているプロダクトデザイン科 感覚練習・発想練習をとおして創造力を養い 基礎理論から応用面への展開・表現技術を深めるドレスデザイン科の4つがあり 職業をもつ社会人等 夜間学ぶ人の特殊性に応じ各科1年間で完結する独自のカリキュラムが組まれています 毎日午後6時から9時までの講義・演習・実習にもかかわらず 基礎造形科からビジュアル プロダクト ドレスの各デザイン科へと連続2年にわたって勉強をする人達が多く 創立以来高い年令・学歴の人や 現在仕事をしている会社からデザインを学ぶために派遣されたりして集った広範な職業人へのII部独自の教育や友情は デザイン界に大きな貢献をしております



基礎造形科

基礎造形科は 広範囲の造形活動における豊かな造形感覚や構成力を体得することを目的としています 将来 専門分野を志す人や 現在活動している社会人にも 概念にとわられない新鮮な感覚や発想の基礎を充実するのに適したクラスです

科目内容

必修科目

●構成実習—色彩・構成・構造

構成実習は各種の材料・用具による実習をとおして 造形性を追求することによって造形思考を拡充させ 造形のもつ構造・機能・意味との関係を体験的に理解し 形態・色彩・材質・空間など造形要素とその相互関係を統一的に把握してゆく構成力をみがかせ ゆたかな発想と個性の表現に導くものです

●表示練習—図法・文字

着想や事物を客観的な図で表示する能力を養うために 基礎的な図学の理解や見取図の練習を主にし あわせて標準的な文字の基礎的練習が行なわれます

●美術実習—絵画・彫塑

各種の素材の絵画実習と彫塑実習によって 対象から受けた印象や感動を卒直に自由に表現する力を伸ばすとともに 対象を観察究明することによって具象・抽象に共存する造形の本質を把握させようとしています

選択必修科目

造形原論・近代美術史・造形社会学・造形心理学の精選された4つの教養学科から前・後期で2単位が必修です

ビジュアルデザイン科

この科は基礎造形科の課程を修めた人やグラフィックデザインなどビジュアルデザイン関係に経験のある人のためのクラスです

ここではグラフィックデザインを中心に学習が展開される一方、印刷技術と写真による表現力の指導が、要素的・基礎的な学習から総合的・具体的なデザイン指導へと進められ、その間にデザインの基本的な問題を正しく認識把握させ、ビジュアルコミュニケーション（視覚伝達）の能力や態度の伸長に重点がおかれています。またビジュアルデザイナーとしての広い要求に対応するために、パッケージングなどがあり、より技能を高めるためのイラストレーション、レタリングがあります。

科目内容

必修科目

●グラフィックデザインの理論と実習

色彩構成
シンボル
タイポグラフィ
イラストレーション
図表デザイン
エディトリアルデザイン
アドバタイジングデザイン
印刷概論

●写真・パッケージング

選択必修科目〈1科目選択〉

構成
テキスタイル
デザイン論A
デザイン論B

プロダクトデザイン科

この科は基礎造形科の課程を修めた人やプロダクトデザイン関係の仕事をしている人を対象としています

授業はインダストリアルデザインコースとインテリア・住宅デザインコースの実習にわかれて、それぞれの教育が行なわれています。インダストリアルデザインコースではデザインのための分析・発想・展開、またその表示のためのドローイング、モデリング、レンダリングなどの技術指導があり、インテリア・住宅デザインコースでは生活空間に対する正しい考えかたや、家具、室内設計や住宅設計の指導がなされ、どちらのコースも発想や思考の過程を重視し、新しい材料や生産技術をデザインに活かし、明日の生活様式や精神風土を創造する根本的な態度の育成に重点がおかれています。

科目内容

必修科目

●インダストリアルデザインコース

インダストリアルデザインの理論と実習
材料〈金属・プラスチック―表面処理―〉
製図

●インテリア・住宅デザインコース

インテリア・住宅デザインの理論と実習
家具デザイン
構造デザイン論
設計製図

選択必修科目〈1科目選択〉

構成
写真
テキスタイル
デザイン論A
デザイン論B

ドレスデザイン科

この科は基礎造形科の課程を修めた人やドレスデザインおよびその技術の経験が1年以上ある人を対象としています

デザイン実習では構成実習とデザインの感覚および発想練習をとおして創造力をたかめ、デザインの基礎理論と対応させながら応用面へと展開させます。あわせて表現技術としてモデリングを中心にした技術面の勉強によって立体の量感を把握させます。ここでは短期間にドレスデザイン全般についての知識と技術を深められるよう考慮されていると同時に産業の中でのドレスデザインのあり方や方向を認識させ、社会性のあるデザイナー、ディレクターを養成することを目的としています。

科目内容

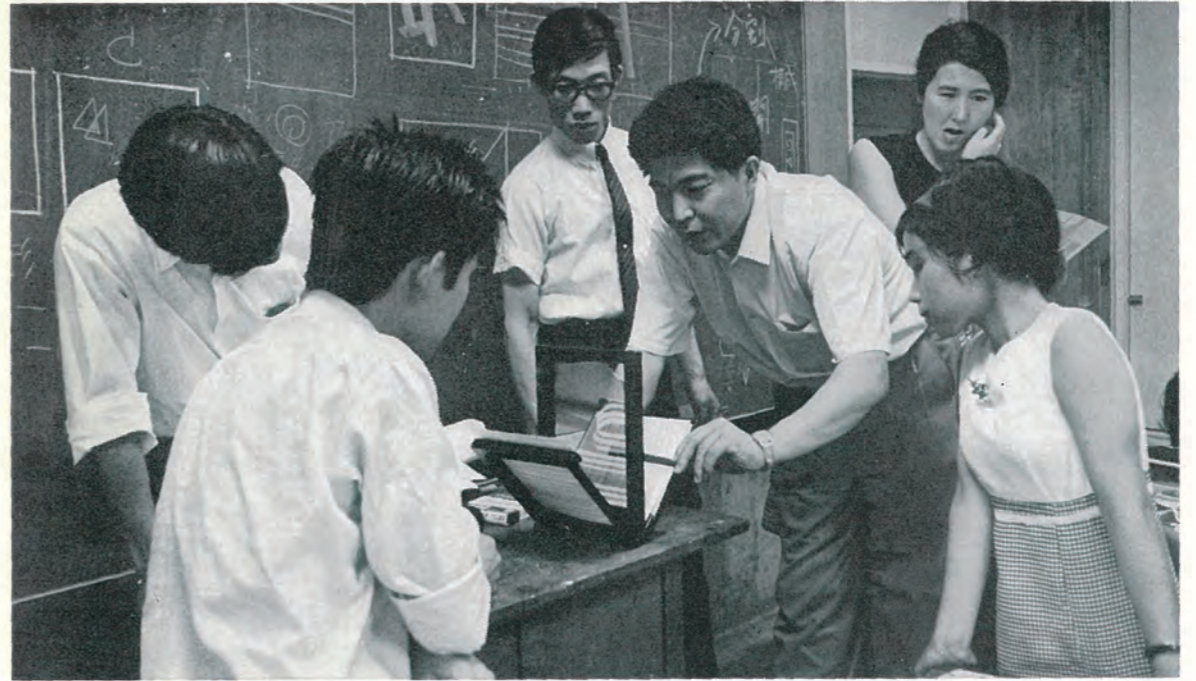
必修科目

●ドレスデザイン

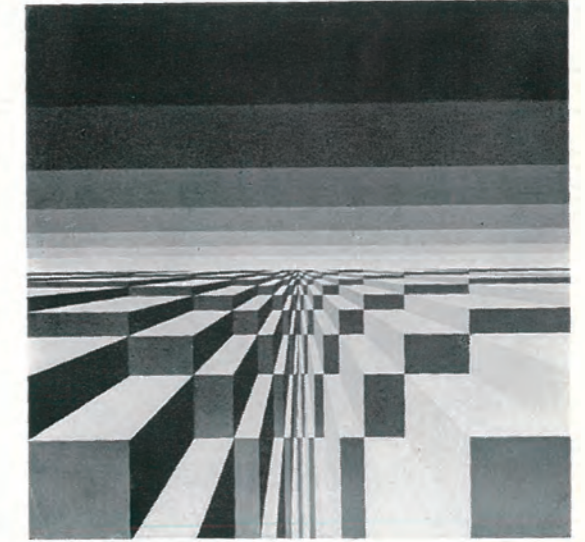
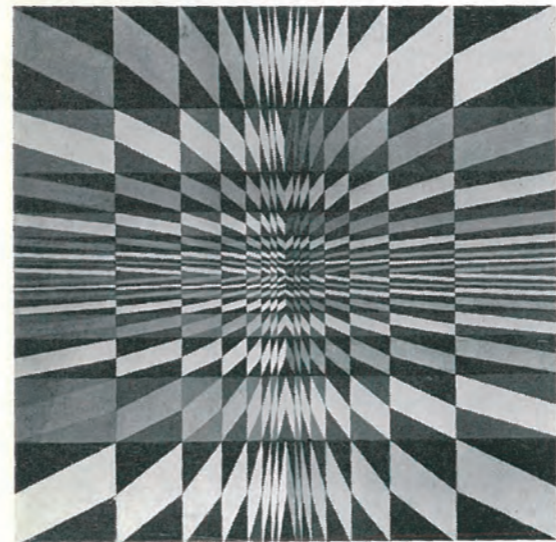
デザイン理論とデザイン実習
基礎理論とその展開
構成実習―デザインの感覚練習
デザインの発想練習
モードドローイング
技術理論と技術実習
基礎理論とその展開
モデリング

選択必修科目〈1科目選択〉

構成
写真
テキスタイル
デザイン論A
デザイン論B



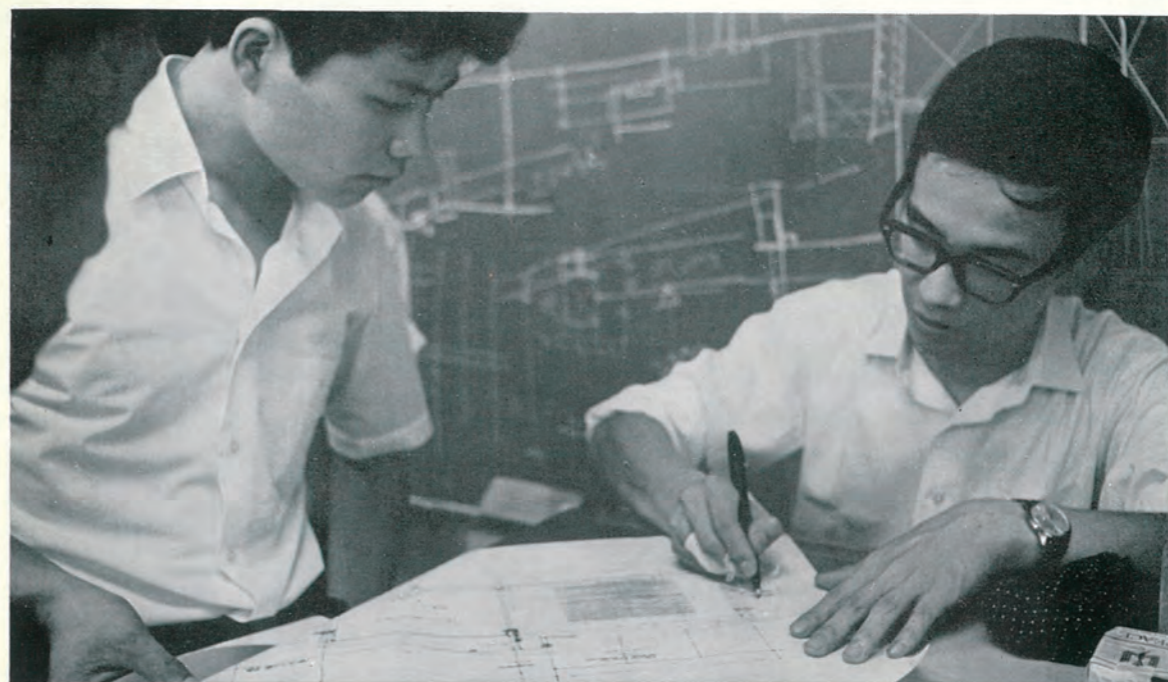
1	2	1 印刷機を使用して印刷実習 2 色の混合実験 3・4 作品(平面構成)
	3 4	





1	3
2	4

- 1 モデリング
- 2 パッケージデザインの基礎
- 3 建築製図実習
- 4 彫塑



教員

教養学科

阿部 公正	デザイン史
芦原 初子	英語
泉 真也	デザイン論
出原 栄一	デザイン論
岡谷 公二	美術史
神之村あやめ	英語
霧生 和夫	仏語
香山 健一	造形社会学
清水 幾太郎	特別講義
島田 厚	人文科学
田中 靖政	社会科学
中川 作一	デザイン論
中沢 護人	自然科学
信定 宏郎	美術史
浜口 隆一	特別講義
林 進	社会科学 デザイン論
松谷 彊	造形原論
三木 多聞	近代美術史
南 博	特別講義
村上 一郎	造形心理学 デザイン論
山本 顕一	仏語

構成

海本 健	構成 色彩
清原 悦志	構成
郡山 正	構成 図法
田中 淳	構成
高橋 正人	構成
高山 正喜久	構成
羽原 肅郎	構成
真鍋 一男	構成
矢野 目鋼	構成 写真
宮沢 タイ子	色彩

美術

朝倉 拱	絵画 イラストレーション
石引かほる	コスチュームドローイング 絵画
岩野 勇三	彫塑
上野 操	絵画 コスチュームドローイング
尾崎 ふさ	絵画
佐藤 忠良	彫塑 絵画
森田 信夫	絵画
渡辺 恂三	絵画

写真

石元 泰博	写真
伊藤 知己	写真史
大辻 清司	写真
河合 玲二	写真
重森 弘淹	現代写真論
高梨 豊	写真
滝口 修造	現代写真論
東松 照明	報道写真論
浜田 浜雄	特別講義
樋口 忠男	スタジオ撮影
平野 久	写真
保積 英次	感光材理論
目島 計一	写真
脇リギオ	カラー写真

パッケージング

芦原 晋	材料 技術
淡島 雅吉	デザイン
古口 謙二	デザイン
高橋 満寿男	デザイン論
塚田 敢	デザイン デザイン論
灘本 唯人	デザイン
山本 茂	デザイン論
横山 徳禎	デザイン

グラフィックデザイン

粟津 潔	デザイン
一柳 慧	デザイン論
上野 誠	木版実習
宇野 亜喜良	特別講義
遠藤 亨	デザイン
小幡 章	デザイン論
川添 登	デザイン論
川俣 正一	印刷概論
勝井 三雄	デザイン
勝見 勝	特別講義
加藤 清美	銅版実習
木村 希八	石版実習
楠原 義一	デザイン
草刈 順	デザイン
後藤 英雄	デザイン
佐藤 敬之輔	タイポグラフィ
佐野 寛	デザイン
杉田 豊	デザイン
須賀 攸一	レタリング
田中 一光	デザイン
針生 一郎	デザイン論
福田 繁雄	デザイン
道吉 剛	デザイン
宮内 嘉久	デザイン論
三好 雅子	デザイン
向 秀男	特別講義
森 啓	デザイン
山本 隆太郎	印刷概論
矢沢 宏司	デザイン

ドレスデザイン

東 昇	被服材料学
安東 武男	デザイン
飯塚 春次郎	既製服縫製
五十嵐 都美	技術
石津 謙介	男子服飾論
石丸 寿代	既製服デザイン
海本 小織	デザイン テキスタイルパターン
大空 淑子	モデリング
小川 安朗	被服文化論 被服材料
川合 優	モードドローイング
北岡 幽子	帽子デザイン
国方 澄子	モデリング
熊井 戸立雄	編集
桑沢 かね子	技術
桑沢 君子	和服理論
桑沢 洋子	デザイン
根田 みさ	デザイン
近藤 百合子	デザイン
笹原 紀代	ピンワーク
佐藤 みさ子	技術 デザイン
鈴木 栄三郎	ミシン操作
谷 長二	流行論 男子服飾論
谷 二三	技術
丹野 郁	服装史
塘 和夫	ニットウェア
豊田 高代	技術
中島 道子	デザイン コスチュームドローイング
中田 幸平	舞台衣裳論
塙 経亮	技術
原田 二郎	服装史
平田 暁夫	帽子デザイン
福村 千英子	技術
前田 晃子	デザイン
真野 誠二	舞台衣裳デザイン
宮内 裕	モードドローイング
村岡 寿枝	デザイン
本吉 春三郎	日本衣裳風俗
森 妍子	手芸

諸岡 美津子	デザイン
柳 沼恵美子	技術
山本 良子	被服材料学
横山 雄一	既製服デザイン

テキスタイルデザイン

木村 美知子	織物
近藤 英	染色
砺波 宏明	染色化学
土肥 悦子	織物
錦 織 弘	テキスタイルパターン
柳 悦孝	織物
横田 経子	織物
四本 貴資	染色 染色化学

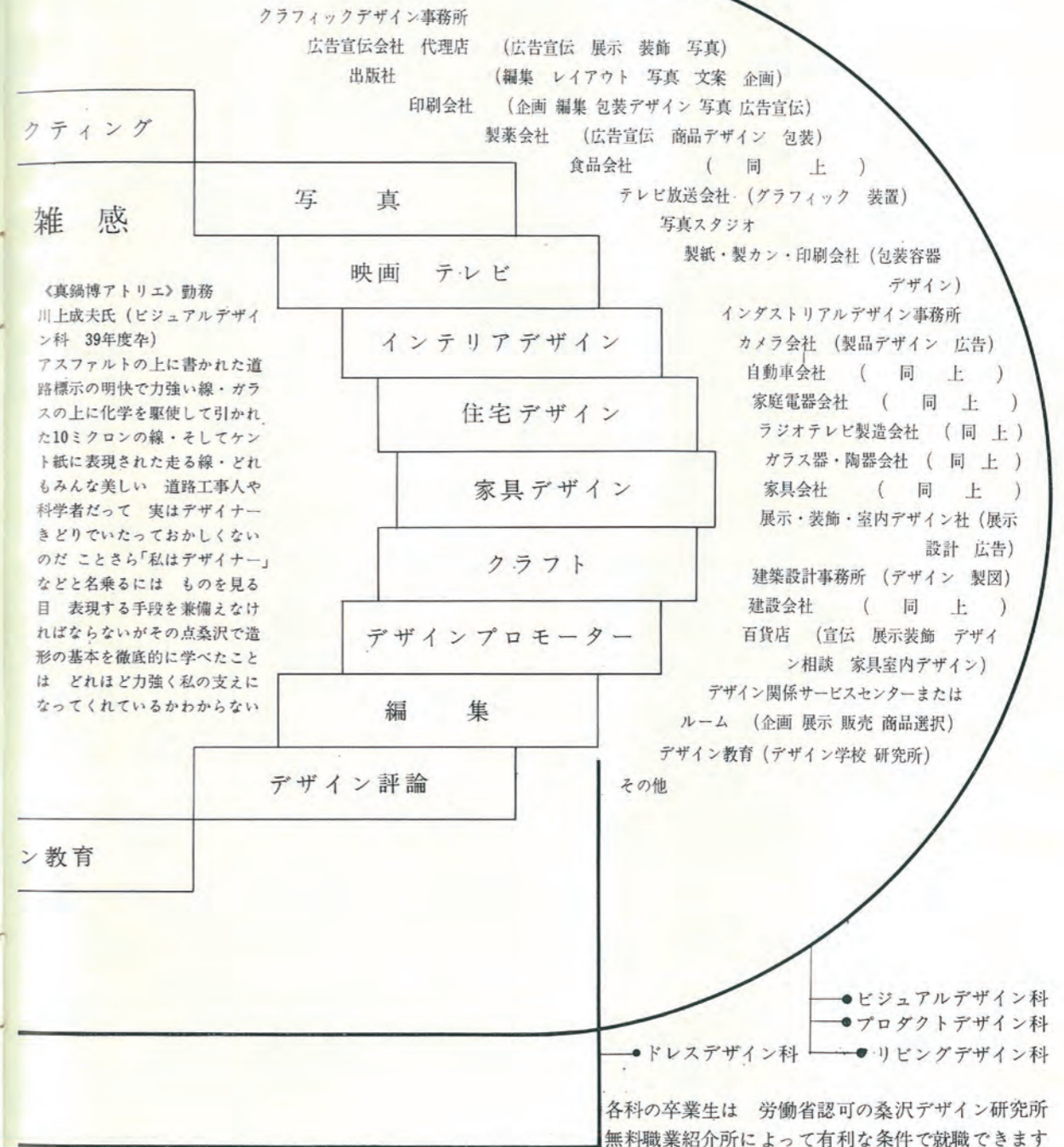
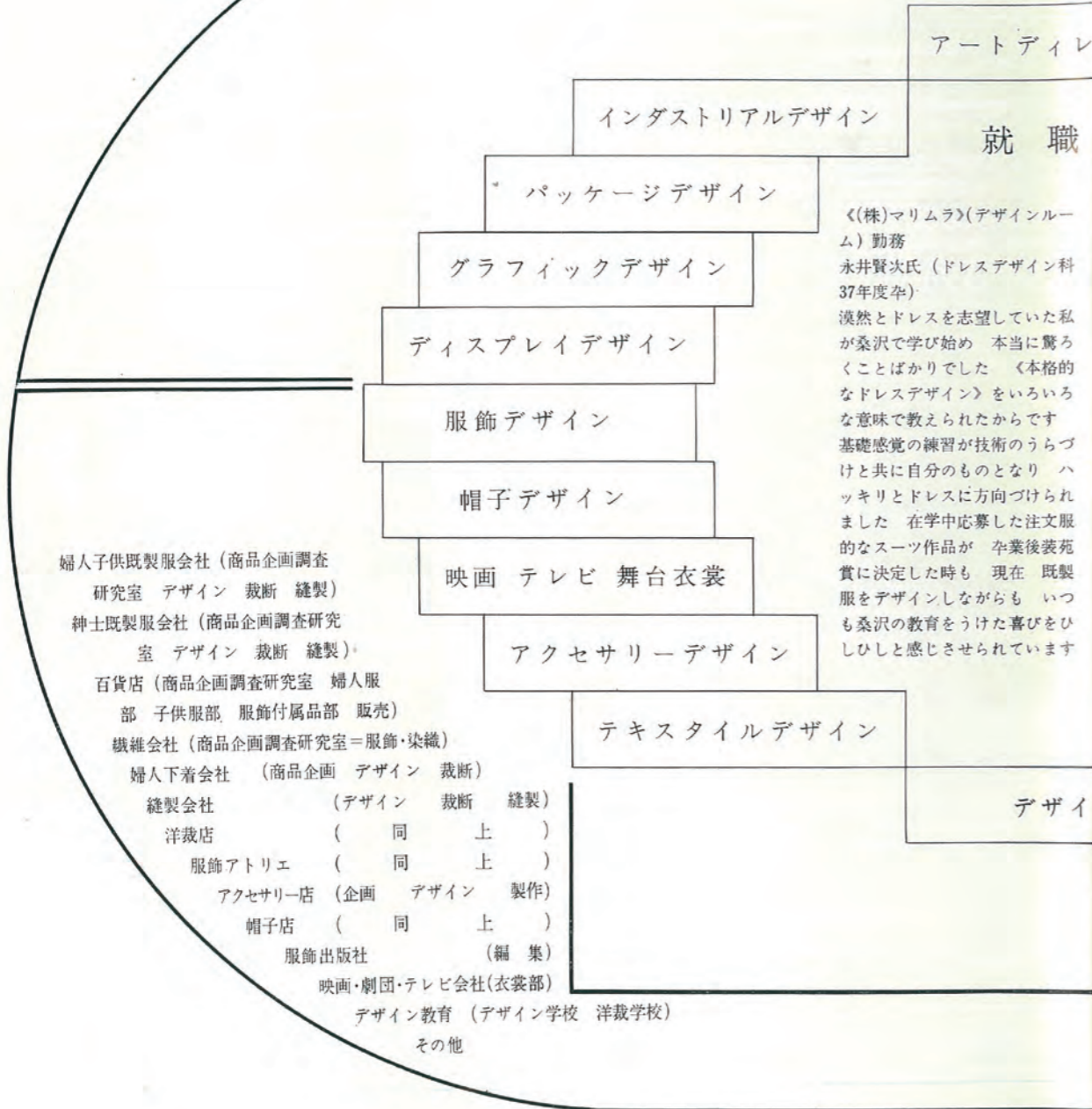
インダストリアルデザイン

相沢 正	塗装
青木 恒太郎	材料(木材・接着剤)
石倉 巖	デザイン デザイン論
鶴飼 義一	金属表面処理
魚住 双全	表現技術
内村 喜之	デザイン デザイン論
金子 至	デザイン
喜多 智慧夫	工業製図
ジョセフ 糠沢	表現技術
寿美田 与一	デザイン論
玉崎 洋一	キャストینگ技術
手塚 敬三	鋸接技術
豊口 克平	デザイン論
豊口 協	デザイン
真水 公雍	デザイン
皆川 正	デザイン
村越 康	材料(プラスチック)

インテリア・住宅デザイン

稲田 尚之	建築デザイン
内山 督	建築製図
戎居 研造	建築デザイン
遠藤 誠之	建築デザイン
大橋 晃朗	建築デザイン
小能林 宏城	建築デザイン
狩野 雄一	インテリアデザイン
北村 吉一	設計製図 図法
剣持 勇	特別講義
坂田 種男	インテリアデザイン
佐藤 なお	建築デザイン
篠原 一男	建築デザイン
白石 勝彦	インテリアデザイン
清家 清	建築デザイン
中村 圭介	インテリアデザイン
難波 恒夫	構造デザイン論
林 雅子	建築デザイン
原 宏司	建築構造概論
松村 勝男	インテリアデザイン
村松 貞次郎	特別講義
山口 勇次郎	インテリアデザイン

卒業後の方向



入学手続

入学試験

学 費

入学資格 高等学校卒業以上（卒業見込者を含む）
色神正常者
男女 年齢は問わない
I部1年およびII部基礎造形科以外は
各専門デザインの経験者

- 提出書類**
- 1 入学願書（所定のもの）
 - 2 写真3枚（半身 脱帽 正面 背景なし 縦4.5cm×横3.5cm 最近3ヶ月以内に撮影のもの）
 - 3 最終学校の成績証明書
 - 4 最終学校の卒業（見込）証明書
 - 5 身体検査書（所定のものに最寄り医師の証明のあるもの）

選考料 I部 5000円 II部 3000円

願書受付 12月1日より（日曜 祭日を除き毎日午前9時30分より午後5時30分まで）
願書を郵送される方は 締切日の1週間前に必着するよう選考料を添え 封筒に《願書在中》と朱書のうえ発送のこと

選考 願書締切日 選考日 選考方法は右表のとおりですが 詳細は願書提出時にお知らせします

合格発表 各選考日の翌々日の正午 校外に掲示
発表します
合格者には合格証および手続き等の書類を渡します

入学許可 合格者は 発表日から1週間以内に本学事務部に所定の手続きをして 入学の許可を受けてください この手続きがおくると 入学の意志がないものと認めて補欠者に許可をあたえることがあります

入学式 昭和41年4月10日

学 費 右表のとおりです
（ ）内の数字は補欠入学者の納入金額です
授業料は6ヶ月前納をたてまえます
一度納入したお金は いかなる理由があってもお返しいたしません
教材費等は入学の時にくわしく説明します

他に同窓会費として入学時に2000円を納入のこと
II部の再入学者は右表の内 入学金は半額とし 施設維持費 学園後援費は不要です

その他 各学年への一部聴講および途中入学はできません
各学年とも修学期間は4月より翌年3月まで
毎日授業があります
寮 寄宿舎はありません
学割の利用ができます

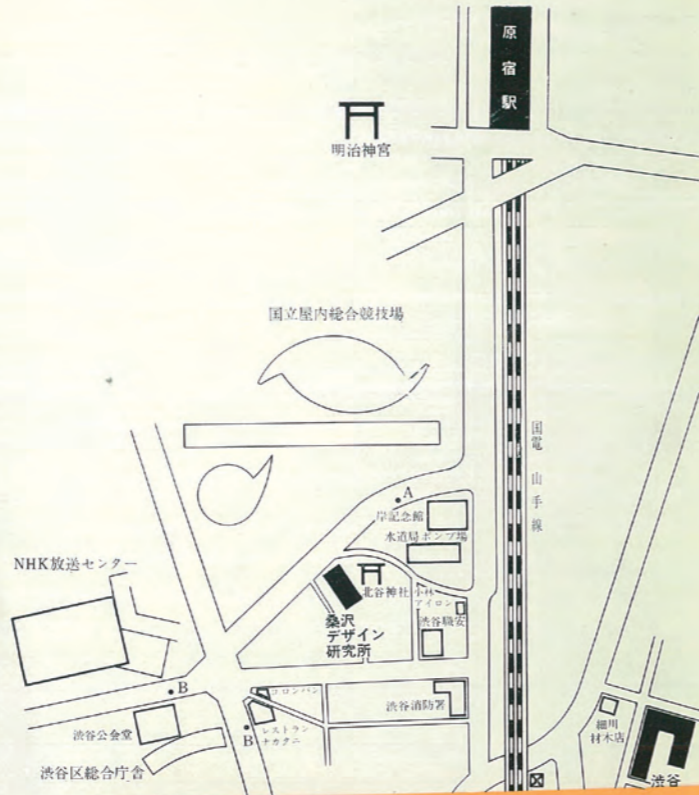
入学試験

部	募集科学年	願書切日	選考日	選考会場	選考方法	
I部 (昼)	リビングデザイン1年	第1回	1月13日(木)	1月16日(日) 1月17日(月)	渋谷女子高校 当研究所	国語(現代文)・鉛筆石膏デッサン・平面構成・正投影図法(第三角法の理解と描図)・面接
		第2回	3月17日(木)	3月20日(日) 3月21日(月)	渋谷女子高校 当研究所	国語(現代文)・鉛筆石膏デッサン・平面構成・正投影図法(第三角法の理解と描図)・面接
	ドレスデザイン1年	第1回	12月16日(木)	12月19日(日)	当研究所	国語(現代文)・鉛筆石膏デッサン・平面構成・面接
		第2回	3月17日(木)	3月20日(日)	当研究所	国語(現代文)・鉛筆石膏デッサン・平面構成・面接
	ドレスデザイン2年		3月3日(木)	3月6日(日)	当研究所	国語(現代文)・鉛筆石膏デッサン・平面構成・ドレスデザイン・面接
II部 (夜)	基礎造形	第1回	2月10日(木)	2月13日(日)	当研究所	国語(現代文)・鉛筆石膏デッサン・平面構成・正投影図法(第三角法の理解と描図)・面接
		第2回	3月17日(木)	3月20日(日)	渋谷女子高校	国語(現代文)・鉛筆石膏デッサン・平面構成・正投影図法(第三角法の理解と描図)・面接
	ビジュアルデザイン		3月3日(木)	3月6日(日)	当研究所	国語(現代文)・鉛筆石膏デッサン・平面構成・デザイン(専攻に関する実技)・面接
	プロダクトデザイン		3月3日(木)	3月6日(日)	当研究所	国語(現代文)・鉛筆石膏デッサン・平面構成・デザイン(専攻に関する実技)・面接
	ドレスデザイン		3月3日(木)	3月6日(日)	当研究所	国語(現代文)・鉛筆石膏デッサン・平面構成・ドレスデザイン・面接

学 費

部	科	学年	入学金	授業料	施設維持費	学園後援費
I部 (昼)	リビングデザイン	1	50,000	年54,000	30,000	50,000
		2	—	年54,000	—	—
		3	—	年54,000	—	—
II部 (夜)	ドレスデザイン	1	50,000	年54,000	30,000	50,000
		2	(50,000)	年54,000	(30,000)	(50,000)
		3	—	年54,000	—	—
II部 (夜)	基礎造形		20,000	年30,000	20,000	20,000
	ビジュアルデザイン		20,000	年30,000	20,000	20,000
	プロダクトデザイン		20,000	年30,000	20,000	20,000
	ドレスデザイン		20,000	年30,000	20,000	20,000

案内地図



国電—原宿下車 徒歩6分または渋谷下車 徒歩8分

バス—渋谷駅⇔代々木スポーツセンター 循環線 代々木スポーツセンター前(地図内A印)徒歩1分

” —渋谷東横前⇔中野駅・中野江古田・佼成会聖堂前・世田谷車庫・井の頭文化園 各線 渋谷区役所前下車(地図内B印)徒歩1分

請求番号	登録番号	研究所入学案内1966		
著者名	筑波大学桑沢デザイン研究所 渋谷区北谷町32			
書名	研究所入学案内編集委員会			
所属	帯出者氏名	貸出日	返却予定日	返却日

研究所入学案内1966

筑波大学桑沢デザイン研究所 渋谷区北谷町32

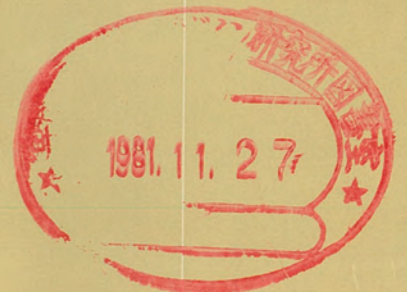
研究所入学案内編集委員会

株式会社 藤栄

区神宮前6-33-9

2/14000

K13318



蔵書